

18．主な財政指標での近隣区との比較

近隣区との主な財政指標の比較では、財政基盤の強さや財政の弾力性の状況は、概ね良好な位置にある。

財政力指数は、地方公共団体の財政基盤の強さを示し、この指数が大きいほど財源に余裕があるとされている。本区は前年度より0.01ポイント低下し、0.42となったが、文京区を除く他の3区を上回っている。

財政構造の弾力性を見る経常収支比率は74.9%で、前年度より4.5ポイント改善している。近隣4区についても同様に改善している。

財政運営の状況を判断する指標である実質収支比率は、前年度より1ポイント増加して4.4%となった。一般的には概ね3～5%の範囲が適正といわれているが、近隣区の中では、本区のみがこの範囲内となっている。

標準財政規模に対する公債費充当一般財源の割合である公債費比率は、9.2%で、前年度と比べ0.5ポイント減となった。他の4区に比べて高い数値となっているが、現時点における将来推計では、今後は遞減傾向になるものと予測している。

主な財政指標	台東区		文京区		荒川区		北 区		墨田区	
	17年度	18年度	17年度	18年度	17年度	18年度	17年度	18年度	17年度	18年度
財政力指数	0.43	0.42	0.67	0.66	0.28	0.28	0.35	0.36	0.34	0.34
実質収支比率 (%)	3.4	4.4	6.6	5.1	8.1	8.9	6.3	6.5	4.9	6.4
公債費比率 (%)	9.7	9.2	8.2	6.0	7.7	7.2	5.9	7.1	7.9	6.6
経常収支比率 (%)	79.4	74.9	76.7	73.5	75.9	75.5	78.3	76.8	85.0	82.3